記念塔

江別市立文京台小学校
学校だより　No. １０
令和８年１１月２５日（水）
TEL 386-7700
FAX 386-7710



【大麻中学校区　めざす子ども像】
ともに支え合い　夢や可能性に向かって
たくましく生きる子ども

【文京台小学校　重点目標】
なりたい自分をめざし　認め合い　高め合い　挑戦し続ける文京台の子～子どもが主役のOne　Team～文京台の教職員

令和８年度　全国学力・学習状況調査（６年生）の結果について

全国学力・学習状況調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策や学校での学習指導の改善に役立てるために実施されています。文京台小学校では、６年生 31 名が国語・算数の調査に取り組みました。

本校では、平均正答率だけでなく、領域別・問題別の結果や無解答の状況、児童質問調査を合わせて分析しました。今後の授業改善と一人ひとりへの支援に生かしていきます。

１．教科に関する調査の結果

国語の平均正答率	算数の平均正答率
全国平均を上回りました	全国平均を上回りました

＜内容領域別に見た全国平均との比較＞

教科・領域	全国平均との比較	教科・領域	全国平均との比較
国語　言葉の特徴や使い方	上回りました	国語　言葉の特徴や使い方	上回りました
国語　情報の扱い方	上回りました	算数　数と計算	上回りました
国語　話すこと・聞くこと	上回りました	算数　図形	上回りました
国語　書くこと	上回りました	算数　測定	上回りました
国語　読むこと	上回りました	算数　変化と関係	下回りました
		算数　データの活用	上回りました

国語・算数とも平均正答率は全国を上回りました。国語はすべての区分で全国を上回り、特に「書くこと」は本校の強みです。一方、算数の「変化と関係」は全国を下回った唯一の領域であり、数量の関係を図や式、言葉で捉えて説明する力を重点的に育てます。平均正答率だけでなく、誤答の内容や無解答の状況を重視して分析しています。

全国学力・学習状況調査について

調査の目的	義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
対象・教科	全国の小学校６年生　／　国語・算数
実施日	教科の調査：令和８年４月２３日（木）　／　児童質問調査：一人一台端末を使ったオンライン方式
調べていること	**教科の調査**：学年までに身に付けておきたい知識・技能と、それらを活用して考える力 **児童質問調査**：学習への意欲や学習の仕方、生活習慣、学校生活など
結果の見方	この調査で測ることができるのは、学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面にすぎません。数値だけで、お子さんの力や学校の取組のすべてを表すものではありません。本校では、順位や数値の比較のためではなく、子どもたちのつまずきを見つけ、授業を改善するために結果を活用しています。

２．課題改善が必要な領域の分析

【国語】考えと、それを支える理由・事例の関係を読む

問題２ 二　国語の問題のうち全国平均を下回り、課題が見られた問題

＜問題のねらいと学校での学習指導＞

文章中の「考え」と、それを支える理由や事例の関係を理解できるかをみる問題です。正答の「長そでのシャツをはおる」と、誤答の「えり元を開けて着る」がほぼ拮抗し、複数の事例から筆者の考えに合うものを吟味するところに課題が見られました。

説明文の学習では、筆者の主張と理由・事例を線で結んだり、複数の事例を比べて「どれが主張を最もよく支えるか」を説明したりする活動を取り入れます。

国語の強み　問題２ 四は全国平均を大きく上回り、引用して自分の考えを書く力が伸びています。

ただし、この記述問題では無解答の児童が全国より多く見られました。「書ける児童はよく書ける一方、書き出せない児童がいる」可能性を踏まえ、条件確認、メモ、根拠、見直しの手順を日常の授業で定着させます。

【資料】花山さんの文章の一部（下線部①が問われている「考え」）

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1　はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがアみじかい方がすずしいのではないか。なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2　どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しゃ日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3　すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル２０２２」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」、「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やそでをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

〈図〉



では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

2　花山さんの学級では、夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書き、友達と報告し合うことにしました。花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べ、文章を書いています。次の【花山さんの文章の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【算数】「変化と関係」― 単位量当たりの大きさと割合

ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ

［出題の趣旨］単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる

【設問】２ (3)

(3)　AとBの２つのペンギンの広場があります。

下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数（羽）	面積（m²）
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

A　10 ÷ 20 = 0.5

B　12 ÷ 30 = 0.4

【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。

下の ア と イ、ウ と エ の中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は［ア　1 m² あたりのペンギンの数／イ　1 羽あたりの面積］を求めています。

商を比べると［ウ　商が大きいAの広場／エ　商が小さいBの広場］の方がこんでいることがわかります。

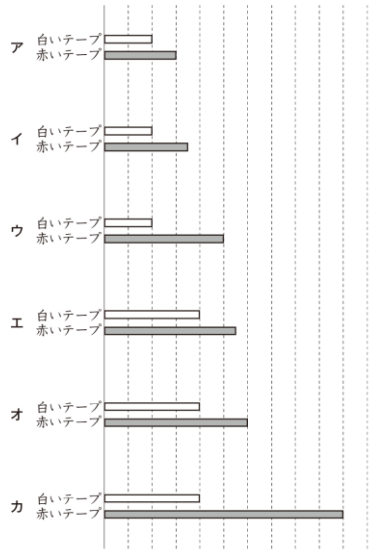
赤いテープの長さが、白いテープの長さの１．５倍になっている図を二つ選ぶ

［出題の趣旨］基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる

【設問】２ (4)

(4)　赤いテープの長さが、白いテープの長さの 1.5 倍になっている図はどれですか。

下の ア から カ までの中から**2つ**選んで、その記号を書きましょう。



問題２（３）　全国平均を下回りました

- 式は「１㎡当たりのペンギンの数」を求めていると読めても、商が小さい方を「混んでいる」と逆に判断する誤りが全国より多く見られました。
- 数値の大小が、場面では何を意味するのかを言葉で確認する指導を重視します。

問題２（４）　全国平均を下回りました

- 「1.5 倍」を「目盛り 1.5 個分多い」と捉え、倍の関係を差の関係として処理する誤りが全国より多く見られました。
- 基準量・比較量・割合を数直線やテープ図に表し、1.5 倍の意味を説明する学習を繰り返します。

算数では、答えを出すだけでなく、「何を１としたのか」「式の商や図の長さは何を表すのか」を問い返し、図・式・言葉を結び付けて説明する活動を日常化します。

【算数】表から必要な情報を読み、根拠を書く

問題４（１）　全国平均を下回りました

【設問】４（１）


えいた

１年生全員からアンケートを集めたのに、**表２**には、全員分のアンケートが整理されていないのではないでしょうか。


さくら

全員分のアンケートが整理されていない学級があります。

表１と**表２**を見ると、「全員分のアンケートが整理されていない学級」が１つあることがわかります。

「全員分のアンケートが整理されていない学級」は何組ですか。その学級を書きましょう。

また、そのことは、**表１**のどの部分と**表２**のどの部分を比べるとわかりますか。言葉と**表１**と**表２**の□の中の数を使って書きましょう。

問題４（１）は学級を特定できた児童が多かった一方、根拠を書かない無解答が全国より多く見られました。

問題４（３）は正答率が本校で最も低く、二次元表の「合計欄」が何を表すかを捉えることに課題が見られました。

問題４（３）　全国平均を上回りました

二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く

［出題の趣旨］二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる

【設問】４（３）

(3)　さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する１年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数　（人）

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する１年生にひもをわたします。

わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は㋐人です。
前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は㋑人です。

上の㋐、㋑に入る数を、それぞれ書きましょう。

３．児童質問調査の結果

児童質問調査では、学習意欲、学習方法、生活習慣、学校生活などを全国と比較しました。教科の結果と合わせ、子どもたちの強みを伸ばし、課題を授業や学校生活の改善につなげます。

（１）全国平均を上回っている項目で特徴的なもの

授業で ICT 機器をほぼ毎日活用	上回りました
いじめはどんな理由があってもいけない	上回りました
人の役に立つ人間になりたい	上回りました
地域や社会をよくするため何かしてみたい	上回りました

また、「自分にはよいところがある」は全国と同程度以上となり、前年度に課題としていた自己肯定感に改善が見られました。読書習慣や学校図書館の利用、家庭学習時間にも本校の強みが見られます。

（２）今後さらに伸ばしたいこと

算数を「重要だと思う」児童や「好き」と答えた児童の割合は、全国平均を下回りました。ICT の使用頻度は高い一方、情報を図・表・グラフ等で整理できると強く実感する児童の割合にも課題が見られました。

正しく解けることに加え、考え方を説明し合い、異なる解法のよさを見つけ、学んだことが生活の中で役立つ実感を持てる授業へ改善します。ICT も、使うこと自体ではなく、情報を整理・比較し、自分の考えを表現するための道具として活用します。

４．調査結果を今後の教育活動へ

文京台小学校が大切にすること

- **国語の「書く力」と ICT 活用、規範意識・社会参画意識という強みをさらに伸ばします。**
- **算数の数量関係、表の読み取り、根拠を説明する力を全校の授業改善の重点とします。**
- **無解答や誤答の内容を丁寧に見取り、一人ひとりのつまずきに応じた支援を行います。**
- **子どもが自分の成長や学ぶ楽しさを実感し、互いのよさを認め合える学級づくりを進めます。**

これからも、調査結果を一時的な数値として終わらせず、日々の授業と子どもたちの成長につなげてまいります。